

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-28	高 等 学 校	芸 術	音 楽 III	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
89・友社	音 III・306	改訂版 高校生の音楽 3		

1. 編修の基本方針

時代の変化と生徒の実態に即した「楽しい教科書」の提供を意図し、以下の諸点を編修の基本方針とした。

- (1) 高等学校学習指導要領・芸術科「音楽 III」の目標・内容に則る。
- (2) 「音楽 II」からの継続性と卒業後の生涯学習への発展性を重視して内容を構成する。
- (3) 音声言語活動の充実を図るとともに、高校生の心情に適した多様な教材を選択し、表現と鑑賞の関連を重視して、参考資料を豊富に取り入れて学習効果を高める。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>学習指導要領の構成にしたがって、全体を「表現」と「鑑賞」の 2 分野に分け、「表現」をさらに「歌唱」「器楽」「創作」の 3 領域の内容ごとにまとめた。</p> <p>そして、幅広い音楽知識の習得と音楽の価値観形成を目指して、諸民族の音楽・ポピュラー音楽など、取り扱う音楽の様式的拡大を図った。</p>	<p>「豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成」を期し、音楽についての幅広い知識と教養を身に付け、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養い、豊かな情操としなやかな感性を培うことを目指す(前文/第 1 号/第 4 号)。</p>	<p>p.4-65 p.66-77 p.78-81 p.82-85 p.89-102</p>
<p>一人一人の音楽的能力と創造性の伸長を意図して、音楽創造の原点と未来的展望に立ったアプローチを重視するとともに、親しみのもてる楽しい教材を多数選定した。</p>	<p>生徒一人一人の価値観を尊重して、その音楽的な能力を伸ばす中で創造性を培い、生涯にわたって音楽と関わり続けるような自主及び自律の精神を養う(第 2 号)。</p>	<p>おもて表紙裏, p.8-9, 16-17 p.49, 64-65 p.68-69 p.82-85, p.102</p>
<p>生徒の主体的・創造的な音楽活動をうながすため、①基本的知識・技能の定着、②身体活動の導入、③原語歌唱の尊重を教科書の随所に設定した。</p>	<p>小集団活動においては自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に芸術界・音楽界の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う(第 3 号)。</p>	<p>①p.64-65, 72, 86-88, 103, 104-うら表紙裏 ②p.66-67 ③p.16-35, 38-40, 42-46, 48, 51-57</p>
<p>自然や生命を尊ぶ心情の形成という観点から、動植物、季節などにちなんだ教材を多数選定した。</p>	<p>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う(第 4 号)。</p>	<p>p.4-6 p.10-11 p.20-21 p.58-63</p>

<p>伝統と文化の尊重という観点から、 ①我が国の唱歌・民謡や多様な伝統音楽、②異文化理解のための諸外国の音楽を多数取り上げた。</p>	<p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う(第5号)。</p>	<p>①p.8-15 p.50 p.68-69 p.98-99, 100 ②p.44-48 p.101</p>
--	--	---

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ①歌唱教材については、「言語活動の充実」や「音楽の価値観形成」を目指して、原語歌唱を重視するとともに、生涯学習の観点から、学習の継続的発展を目指した編修を行った。
- ②鑑賞教材の編修に際しては、学習の楽しい展開を意図し、豊富なカラー資料を提供した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-28	高 等 学 校	芸 術	音 楽 III	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
89・友社	音 III・306	改訂版 高校生の音楽 3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

今日の高等学校教育では、「生きる力」をはぐくむために、基礎的・基本的知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力の調和的追求、主体的に学習に取り組む態度などの育成が求められている。

これを受けて芸術科「音楽 III」では、「音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める」を目標としており、本教科書では、表現と鑑賞の内容の関連を図るなかで、我が国及び諸外国の様々な音楽文化についての理解を深めることを目指している。

本教科書改訂版では、今日の高校生の卒業後における多様な音楽生活を想定して、カラー口絵及び歌唱教材の一部を差し替えるとともに、楽典のコード表を一新し、音楽創造の未来展望を凝縮した、「ミュージック・シーンのこれから」という新コーナーを設けた。

2. 対照表

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
歌 唱	みんなで歌おう／歌曲の世界	2A 表現(1) 歌唱アイ 3 取扱(1), (3)[(3)]	p.4-7, 8-31	
	オペラ&オペレッタの世界／ミュージカル&映画音楽の世界	2A 表現(1) 歌唱アイ 3 取扱(1), (3)[(3)]	p.32-43	
	レッツ・プレイ！ ワールド・ミュージック	2A 表現(1) 歌唱アイ 3 取扱(1), (3)[(3)]	p.44-50	
	合唱の楽しみ	2A 表現(1) 歌唱アイ 3 取扱(1), (3)[(3)]	p.51-63	
	アド・リブ・コーラスに取り組もう	2A 表現(1) 歌唱アイ, (3) 創作イ 3 取扱(1), (3)[(3)(5)]	p.48-49	
	ヴォイス・トレーニング	2A 表現(1) 歌唱アイ 3 取扱(1), (3)[(3)]	p.64-65	
器 楽	アンサンブルを楽しもう I／アンサンブルを楽しもう II／リコーダー運指表／ギター・コード表	2A 表現(2) 器楽アイ 3 取扱(1), (3)[(3)]	p.66-77	

創作	特徴ある音楽をつくろう	2A 表現(3) 創作アイ	p.82-83	
	自分の音楽をつくろう	2A 表現(3) 創作アイ	p.84	
	個性的な表現を生かして自由につくろう	2A 表現(3) 創作アイ 3 取扱(1), (3)[(5)]	p.85	
鑑賞	西洋音楽の鑑賞曲	2B 鑑賞アイウエ 3 取扱(1), (2), (3)[(6)(8)]	p.89-97, p.103, p.104-うら表紙裏	
	日本の伝統音楽の鑑賞曲	2B 鑑賞アウエ 3 取扱(3)[(6)(8)]	p.98-99	
	郷土の伝統音楽	2B 鑑賞アウエ 3 取扱(2)	p.100	
	諸民族の楽器	2B 鑑賞アウエ 3 取扱(2)	p.101	
	ミュージック・シーンのこれから	2B 鑑賞アイウエ 3 取扱(3)[(6)(8)]	p.102	
	音楽を読む (音楽理解への多角的アプローチ)	2B 鑑賞アウエ 3 取扱(3)[(3)(5)(6)(8)]	p.78-81	
資料	楽典／主要音楽用語	2A 表現(1), (2), (3), 2B 鑑賞ア	p.86-88	
	作曲家年表／音楽史年表	2B 鑑賞ウエ 3 取扱(2), (3)[(7)]	p.103, p.104-うら 表紙裏	
	基本的な発音のポイント—ラテン語で歌う—	2A 表現(1) 歌唱ア	p.57	
	カラー口絵 (Your Own Music, Your Own Life)	1 目標 3 取扱(3)[(8)]	おもて表紙裏	